

2月15日に我々の大切な仲間である今井茂樹さんの訃報の知らせを受けた。

今井さんを偲んで、小役との6つのエピソードを紹介したい。

1つ目は出会い。一緒に海外水ビジネス研究会の共同代表をしている山村さんより紹介を受けた。同じ大学に理系と文系に違いはあれ、1970年(昭和45年)の同期入学であった。共通の友人がいることもわかり、接点があると感じた。今井さんがこれからの人生設計を迷っておられた時期に我々の研究会に引き込んだのである。

2つ目は、海外水ビジネス研究会での熱心な活動。すぐに、幹事になっていただき、共同代表にもなっていた。毎月の幹事会や定例会で今井さんは議論が大好き、議論しながら自分の考え方を整理していたようであった。

3つ目は、水道公論の連載シリーズ、「海外水ビジネスの要点を探る」への執筆である。2021

年12月号の32回「気候変動問題―

対策技術について」(8頁)と20

22年11月号の43回「気候変動対

策その2―再生エネルギー化とグ

リーン水素」(11頁)、合わせて19

頁の大作である。この2つの論文

を読んでいただければ、今井さん

の考え方、この地球・人類への思

5つ目は、本の紹介である。お

亡くなりになる少し前(1月21日)

に山村さんと小役にメールをいた

だき、「民主主義全史」(ジョン・

キーン、2022年発行)と「暴

力の人類史」(ステイブ・ペン

カー、2015年発行)を紹介い

ただいた。海外水ビジネス研究会

トーンダウンしても良いのでは、

と云う印象もあります。」という率

直かつバランス感覚のある心配り

をいただいた。

ところで、今井さんと気候変動

問題とのつながりは、1988年

に立ち上げられた「水道と地球環

境を考える研究会(東京都水道局

で技監を務められた故松田奉康氏

が座長)」に遡ると聞いた。その研

究会には、山村尊房氏や岡部洋氏

(海外水ビジネス研究会幹事)も参

加されていた。「松田さんから、将

来きつと役に立つからと言われた

のがきっかけ」と語っておられた

が、それ以来気候変動への関心を

持ち続け、情報収集の蓄積を続け

て来られたことを背景に、30数年

後の我々の研究会に貢献して、松

田さんの助言に応えられたことは

素晴らしいことだと思う。今井さ

んの人となりを実に物語る7つ

目のエピソードである。ご冥福を

お祈りします。

今井茂樹さんを偲んで

海外水ビジネス研究会共同代表 工藤 克典

い入れはすべて理解できる。

4つ目は、月例定例会の講師お

願いに今井さんとご一緒し、夕ご

飯を共にしたことである。上下水

道事業とは異なる公益事業の現状

と課題を参考に話していただくよ

うアレンジしていただき、大変勉

強になった。今井さんの人脈の成

果である。

は、世の中の流れ、世界の動きを

意識しながらの勉強会であり、

我々にとつて、役に立ちそうな本

である。今井さんを偲び、感謝し

ながら読みたいと思っている。

6つ目は、今井さんから頂いた

令和元年の年賀状「海外水ビジネ

ス研究会の幹事の熱心な仕事ぶり

には頭が下がります。もう少し